

SyncMe 利用規約

株式会社NTTドコモ（以下「当社」といいます。）は、この「SyncMe 利用規約」（以下「本規約」といいます。）を定め、これにより「SyncMe」（以下「本サービス」といいます。）を提供します。

第1条 （規約の適用）

本規約は、本サービスの利用（本サービスアプリの使用を含みます。以下同じとします。）に関する当社との間の一切の關係に適用されます。本規約の内容に同意しない場合、本サービスを利用することはできません。

第2条 （用語の定義）

本規約において、次の各号に掲げる用語の意味は、当該各号に定めるとおりとします。

- ① 利用契約：当社から本サービスの提供を受けるための本規約に基づく契約をいいます。
- ② サービス契約者：当社との間で利用契約を締結した者をいいます。
- ③ 本サービスサイト：本サービスに関する情報を掲載した当社のインターネットウェブサイト<<https://www.docomo.ne.jp/service/syncme/>>（当該 URL 配下のインターネットウェブサイトを含み、当社がその URL を変更した場合は、変更後の URL とします。）をいいます。なお、本規約において本サービスサイト上に定めることとしている条件については、本サービスサイト上の定め（本サービスサイト上の定めが変更された場合は変更後のものとします。）も、本規約の一部を構成し、本規約の内容に含まれるものとします。
- ④ 対応端末：Android OS/iOS 搭載端末のうち、当社が本サービスを利用することができる端末として別途本サービスサイト上で指定する端末をいいます。
- ⑤ 本サービスアプリ：本サービスを利用するために必要となる本サービス専用のアプリケーションソフトウェアをいいます。
- ⑥ アプリ使用条件：当社が本サービスアプリの使用条件として別途定めるものをいい、本サービスアプリの対応端末へのインストールや初回起動の時に表示されるものをいいます。
- ⑦ 生成 AI：大量のデータを学習して、その知識をもとに文章など新しいものを自動で作る人工知能をいいます。質問に答えたり、質問に答える文章を書いたりできます。
- ⑧ AI エージェント：人間の代わりに考えて行動する自動実行プログラムをいいます。お客さまの代わりに情報を集めたり、日々行う様々な行動を自動化したり、

お客さまの仕事や生活をより効率的で便利なものに変えるサポートができます。

第3条 (本サービスの内容等)

- (1) 本サービスは、当社独自データと生成 AI を活用したパーソナル AI エージェントサービスです。お客さまの相棒のように興味関心の情報を認識し、興味関心に合わせた情報を自動で収集して、お客さまの代わりに覚えた情報を提供します。その詳細は、本サービスサイト上に定めるとおりとします。なお、対応端末の種別、本サービスアプリのバージョン、サービス契約者の契約状態等によっては、利用できる機能に制限がある場合があります。
 - ① パーソナル AI 対話：AI エージェントが能動的にサービス契約者を理解した会話をすることができる機能
 - ② プロファイル診断：d アカウントに紐づくサービス契約者のデータとサービス契約者が任意で選ぶお気に入りの写真を生成 AI に読み込ませることで、サービス契約者がどんなタイプの人物か診断できる機能
 - ③ ドコモサポートエージェント：ドコモサービスに関するサービス契約者の情報収集や疑問解消等を行う AI エージェント。サービス契約者からの問い合わせを受け付け、情報検索や回答できる機能
 - ④ ミッション：本サービス画面上で施策毎に提示する条件を満たしたサービス契約者に対し、報酬を進呈する機能。報酬を受け取るには、サービス契約者の操作を必要とします。
- (2) 本サービスの利用には、次の各号に掲げる場合に応じて、当社が別途定める d アカウント規約（以下「d アカウント規約」といいます。）に基づき当社が発行した、それぞれ当該各号に定める ID 及びパスワード（以下総称して「d アカウント等」といいます。）が必要です。
 - ① 当社との間で当社が別途定める Xi サービス契約約款又は 5G サービス契約約款（以下総称して「契約約款」といいます。）に基づく Xi 契約若しくは 5G 契約（以下総称して「Xi/5G 契約」といいます。）を締結している場合： d アカウント規約に基づき当社が発行したドコモ回線 d アカウント（以下「ドコモ回線 d アカウント」といいます。）の ID 及びパスワード。なお、当社との間で Xi/5G 契約を締結している者を以下「ドコモ回線契約者」といいます。
 - ② 当社との間で Xi/5G 契約を締結していない場合： d アカウント規約に基づき当社が発行したキャリアフリー d アカウント（以下「キャリアフリー d アカウント」といい、ドコモ回線 d アカウントとキャリアフリー d アカウントとを総称して以下「d アカウント」といいます。）の ID 及びパスワード。なお、当社との間で Xi/5G 契約を締結していない者を以下「非ドコモ回線契約者」といいます。

- (3) 本サービスの利用には、対応端末及び本サービスアプリが必要となります。
- (4) 本サービスの利用可能地域（以下「利用可能地域」といいます。）は日本国内とします。サービス契約者は本サービスを利用可能地域以外の地域で本サービスアプリを起動した場合はサービスをご利用いただけず、アプリ内に表示される情報の更新等できません。サービス契約者が何らかの方法で利用可能地域外で本サービスを利用した場合、当社は、当該地域での本サービスの利用について何ら保証するものではなく、当該地域で本サービスを利用したことによりサービス契約者に生じた損害について責任を負いません。

第4条 （利用契約の成立）

- (1) 本サービスの利用を希望する者（以下「申込者」といいます。）は、本規約の内容に同意のうえ、当社所定の方法により、利用契約の申込みを行うものとします。当社所定の方法にて申込みをされた時点で、申込者は本規約の内容に同意したものとみなします。なお、本サービスでは年齢制限を設けており、12 歳以下のお客さまは、本サービスをご利用になれません（サービス契約者は、端末の貸与等を通じて12 歳以下のお客さまに本サービスを利用させてはなりません）。また、申込者が13 歳から17 歳である場合は、利用契約の申込み（利用契約締結後の SyncMe の利用に関する各種注文を含みます。）について法定代理人（親権者または未成年後見人）の事前の同意を得るものとします。
- (2) 本サービスは、Google LLC、Microsoft Corporation の AI 大規模言語モデル（以下、「AI モデル」といいます。）の API 及び検索を利用しています。サービス契約者は、上記各社の利用規約等に同意し、それらの規約等に従って本サービスを利用するものとします。

(ア) Google LLC 利用規約：<https://policies.google.com/terms>

(イ) Microsoft Corporation 利用規約：

<https://www.microsoft.com/licensing/terms/productoffering/MicrosoftAzure/MCA#ServiceSpecificTerms>

<https://learn.microsoft.com/en-us/legal/cognitive-services/openai/code-of-conduct>

- (3) 当社は、申込者に対し、第(1)項の申込みの内容に関する事実を確認するための書類の提示又は提出を求める場合があります、申込者はこれに応じるものとします。
- (4) 当社は、次の各号に掲げる事項のいずれかに該当すると当社が判断したときは、当該申込者からの申込みを承諾しないことがあります。
 - ① 申込みの内容に不備があり、若しくはその内容が事実と反しているとき、又はそのおそれがあるとき。
 - ② 申込者が13 歳から17 歳である場合は、その法定代理人（親権者または未成年

後見人)の同意を得ている事実を当社が確認できないとき。

- ③ 申込者が当社に対する債務（当社がその債権を第三者に譲渡した債務を含みます。以下同じとします。）の弁済を現に怠り、又は怠るおそれがあるとき。
 - ④ 申込者が第7条（禁止事項）の定めに違反するおそれがあるとき。
 - ⑤ 申込者が過去に不正利用等により利用契約の解除又は本サービスの提供停止等の措置を受けたことがあるとき。
 - ⑥ 申込者が本規約に定めるサービス契約者としての義務を遵守しないおそれがあるとき。
 - ⑦ 申込者が第23条（反社会的勢力の排除）の定めに違反するおそれがあるとき。
 - ⑧ 当社の業務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- (5) 利用契約は、当社が第(1)項に基づく申込みを承諾し、その申込手続が完了した旨を申込画面を通じて申込者に通知した時点で当該申込者と当社との間において成立するものとします。

第5条 (dアカウント等)

- (1) 本サービスの利用に必要となるdアカウント等の取扱いに関する条件は、当社が別途定めるdアカウント規約に定めるところによります。
- (2) サービス契約者がXi/5G契約を締結している場合において、dアカウント等による認証を経ることなく本サービスが利用されたときは、対応端末が接続された契約約款に定める契約者回線に係るXi/5G契約を締結しているサービス契約者がこれを利用したものとみなします。
- (3) 本サービスの利用にあたっては、当社がXi/5G契約に基づき発行するネットワーク暗証番号（以下「暗証番号」といいます。）の入力が必要となる場合があります。
- (4) 当社は、本サービスの利用において暗証番号が入力された場合は、全てサービス契約者自身により入力されたものとみなします。暗証番号の管理不十分、使用上の過誤、第三者の使用等による損害の責任はサービス契約者が負うものとし、当社は、当社に故意又は過失がある場合を除き、当該損害発生につき責任を負いません。
- (5) 暗証番号が不正に利用されたことにより、当社に損害が生じた場合、サービス契約者は、当社に対しその損害を賠償するものとします。

第6条 (知的財産権等)

- (1) 本サービスに関連して、又は本サービスを通じてサービス契約者に提供される本サービスアプリ、その他の情報・コンテンツ等（以下「本サービスコンテンツ等」といいます。）に係る著作権等の知的財産権その他一切の権利は、当社又

は第三者に帰属します。利用契約の締結は、サービス契約者に対してこれらに関する何らの権利を移転するものではなく、サービス契約者は、利用契約に基づく本サービスの利用に必要な範囲に限って、本サービスアプリ/本サービスコンテンツ等を使用することができるものとします。

- (2) サービス契約者が、本サービスに入力、アップロード、登録及び提出等（以下、「入力等」といいます。）するテキスト、資料、画像、データ、コード、音声、コンテンツその他の情報（以下、「情報等」といい、本サービスに入力等された情報等を「インプット情報」といいます。）に係る知的財産権等は、本規約に定める場合を除き、全てサービス契約者又は当該インプット情報の著作権を有する第三者に帰属します。サービス契約者が本サービスにインプット情報を入力等しても、インプット情報に係る知的財産権等は当社に移転しません。ただし、サービス契約者は、当社がインプット情報を「NTTドコモプライバシーポリシー」に定める利用の目的で複製、翻案、公衆送信その他の方法により自由に利用すること及び第三者に利用させることについて無償で許諾するものとします。サービス契約者はインプット情報に係る著作権人格権を自ら行使せず、又は第三者に行使させないものとします。また、サービス契約者は、本サービス上でのインプット情報の利用及び本項に基づく当社又は第三者によるインプット情報の利用が、第三者の著作権等の知的財産権その他の権利又は利益を侵害するものでないことを保証するものとします。
- (3) サービス契約者が入力等したインプット情報に基づき本サービスが出力、応答又は生成等（以下、「出力等」といいます。）した情報等（以下、本サービスが出力等した情報等を「アウトプット情報」といいます。）に係る知的財産権等は、明らかに第三者に権利が帰属する場合を除き、全てサービス契約者に帰属するものとします。当社が何らかの事情でアウトプット情報に関する知的財産権等を保有することになった場合には、当社は、全ての知的財産権等（著作権法 27 条及び 28 条の権利を含みますが、これに限りません。）をサービス契約者に移転します。当社は、本規約に定める範囲で、アウトプット情報を複製、改変その他の方法で利用（以下、「複製等」といいます。）することができるものとします。
- (4) 当社は、本サービスの提供、維持、開発、改善（処理の最適化を含みます。）、適用法令の遵守、本規約やプライバシーポリシーその他本サービスに係る規約等の履行及び本サービスの安全性の維持のために必要な限りにおいて、インプット情報、アウトプット情報を複製等することができるものとします。
- (5) 当社は、当社に故意又は重大な過失がある場合を除き、本サービスの利用、インプット情報又はアウトプット情報が第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないことを保証するものではありません。

第7条 (禁止事項)

サービス契約者は、本サービスの利用にあたって次の各号に該当する行為を行ってはならないものとします。

- ① 当社若しくは第三者の著作権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権等の知的財産権、プライバシーその他の権利若しくは利益を侵害する行為、又はそれらのおそれのある行為（第三者の保有する著作権を侵害するアウトプット情報の出力等を意図して、インプット情報を入力等すること、及び、第三者が保有する知的財産権等権利を侵害する情報を保存することを含みますが、これに限りません）
- ② 公序良俗に反する行為若しくは公序良俗に反する情報を第三者に提供する行為、又はそれらのおそれのある行為（反社会的な内容や他人に不快感を与える表現をインプット情報として入力等し又はアウトプット情報として出力等させる行為を含みますが、これに限りません）
- ③ 犯罪的行為、犯罪的行為に結びつく行為若しくは法令に違反する行為（自殺、自傷行為、薬物乱用、詐欺その他の犯罪行為を誘引又は助長する行為を含みますが、これに限りません）、又はそれらのおそれのある行為（暴力的、残虐又は卑猥な表現をインプット情報として入力等し又はアウトプット情報として出力等させる行為を含みますが、これに限りません）
- ④ 事実に反する情報又はそのおそれのある情報を提供する行為（AI モデルの特性等を利用して、第三者の個人情報、企業の秘密情報又は暗号化された情報等を抜き出したり、虚偽の情報を作出（本サービスに蓄積された情報の書き換えを含みますが、これに限りません。）したりする等の行為を含みますが、これに限りません）
- ⑤ 当社若しくは第三者の名誉若しくは信用を毀損する行為、又はそれらのおそれのある行為（第三者に対する嫌がらせや誹謗中傷行為又はそのおそれのある行為、第三者の個人情報やプライバシーに関する事項を、本人の同意を得ずに、インプット情報として入力等し、又はアウトプット情報として出力等させることによって収集し、第三者に共有し又は一般に公開等する行為を含みますが、これに限りません）
- ⑥ 本サービスに係る設備に対して過度な負担を与える行為、当社による本サービスの提供を不能にする行為その他当社による本サービスの提供に支障を与え、若しくはその運営を妨げる行為、又はそれらのおそれのある行為（解読不能な文言や文字列等をインプット情報として入力等し又はアウトプット情報として出力等させる行為、不正利用防止機能や安全フィルターその他の保護措置を回避しようとする行為を含みますが、これに限りません）

- ⑦ コンピュータウイルス等有害なプログラムを、本サービスを通じて、若しくは本サービスに関連して使用し、若しくは提供する行為、又はそれらのおそれのある行為（同一内容の過剰な繰り返し、スパムその他の当社が不適切と判断する表現をインプット情報として入力等し又はアウトプット情報として出力等させる行為を含みますが、これに限りません）
- ⑧ 本サービスを利用可能地域以外の地域で利用する行為
- ⑨ 12 歳以下の者に本サービスを利用させる行為
- ⑩ d アカウント等を不正に使用する行為（当社又は第三者に成りすます行為又は意図的に虚偽の情報を流布する行為を含みますが、これに限りません）
- ⑪ 本サービスアプリ/本サービスコンテンツ等について、複製、公衆送信（自動公衆送信の場合にあつては、送信可能化を含みます。）、伝達、譲渡、貸与、変形、翻案等の利用を行うなど、本サービスアプリ/本サービスコンテンツ等を第 6 条（知的財産権等）に定める範囲を超えて利用し、又は使用する行為
- ⑫ 本サービスアプリ/本サービスコンテンツ等について、改変若しくは改ざんを行い、又は逆コンパイル、逆アセンブル等のリバースエンジニアリング（主に、内容を解析して、人間が読み取り可能な形に変換することを指します。）を行う行為
- ⑬ 本サービスアプリ/本サービスコンテンツ等に付されている著作権表示その他の権利表示を除去し、又は変更する行為（アウトプット情報を人が作り出したものであるかのように表示する行為を含みますが、これに限りません）
- ⑭ 当社の定める手順に反する方法で本サービスアプリをインストールし、使用する行為。その他、本サービスアプリを、アプリ使用条件に反する方法又は反するおそれのある方法で利用し、又は使用する行為（当社の許諾を得ることなく、本サービスを別のサービス等に組み込む行為を含みますが、これに限りません）
- ⑮ その他当社が不適切と判断する行為

第8条 （利用料金）

- (1) 当社は、本サービスサイト上又はその他の方法によって事前に告知したうえで、利用料金、利用料金支払いの方法を変更することがあります。この場合、第 24 条（規約の変更）に基づき変更の効力が生じるものとします。
- (2) 本サービスの利用にあたっては、別途通信料がかかります。

第9条 （パーソナルデータの取扱い）

- (1) 当社は、サービス契約者のパーソナルデータの取扱いについて、別途「NTTドコモプライバシーポリシー」<<https://www.docomo.ne.jp/utility/privacy/>>（当社がその URL を変更した場合は、変更後の URL とします。以下「プライバシーポリシ

一」 といいます。) において公表します。

- (2) 当社から入力のご案内がある場合又は当社が提供するアプリ上で入力を求める場合を除き、サービス契約者は、当サービスの利用に際して、個人情報を入力・送信しないことに同意します。当社から入力のご案内がある場合又は当社が提供するアプリ上で入力を求めた場合であっても、サービス契約者は、インプット情報に含まれる個人情報のうち、第三者のプライバシー情報が含まれる場合には、インプット情報に含まれないように削除やマスキング処理等をしていただくか、当該情報の本人の同意を取得した上で、当該インプット情報を入力等するものとします。
- (3) 当社は、インプット情報に含まれる個人情報のうち、その情報単体で特定の個人を識別することができる情報についてマスキングしたうえで、当該インプット情報を取扱います。但し、この場合であっても、サービス契約者は本条第2項に従うものとします。インプット情報に個人情報が含まれていた場合、当社でその情報を削除する場合があります。なお、本サービスにおいてインプット情報を取り扱う際、回答の正確性確保および利便性向上のため、サービス契約者本人のものか否かを問わず、入力された氏名の情報をマスキング処理せずに利用します。
- (4) 本サービスの提供にあたり当社が取得したサービス契約者の情報について、利用契約の終了後も本規約に定めるほか、当社の定めるプライバシーポリシーに従って取り扱います。
- (5) 外的環境の把握を含む安全管理措置について、当社は、本サービスの AI 対話機能等において、検索エンジン等の外部情報を参照し情報の正確性を向上させる機能（以下「外部情報参照機能」といいます）を利用しています。外部情報参照機能の利用に伴い、サービス契約者が入力した情報の取り扱いについて、以下の通り安全管理措置を講じています。

① 外的環境の把握

サービス契約者から提供された情報は、外部情報参照機能の提供を支えるグローバルな基盤において保管・処理されます。当社は、これらの情報が保管される外国の個人情報の保護に関する制度を把握した上で、適切な安全管理措置を講じています。

② サーバ所在国およびその理由

外部情報参照機能は世界各地に分散されたグローバルなインフラストラクチャ上で運用されているため、データが保管される特定のサーバ所在国を一律に特定することはできません。

③ 保管先となる可能性のある候補国

データは、以下の国々（これらに限られません）に所在するデータセンターで保管・処理される可能性があります。

候補国例： インド共和国、シンガポール共和国、チリ共和国、サウジアラビ

ア王国、アメリカ合衆国、ベルギー王国、台湾等

④ 個人情報保護制度およびセキュリティ基準の確認

当社は、当該外国の個人情報保護制度を適宜確認し、当該プラットフォーム提供事業者との契約または当該事業者が講じるセキュリティ基準(ISO/IEC 27001等)の確認を通じて、情報の機密性、完全性、および可用性が確保されるよう努めます。

第10条 (提供中断等)

(1) 当社は、次の各号のいずれかに該当すると当社が判断したときは、本サービスの全部又は一部の提供を中断することがあります。

- ① 地震、津波、台風、落雷等の天災地変、火災、サイバー攻撃、感染症、伝染病、戦争、暴動、内乱、騒乱、テロ行為、禁輸措置、法令又は規則の制定・改廃、公権力による命令・処分等の政府による行為、争議行為、交通機関の障害その他の国内外で生じた不可抗力により本サービスが提供できなくなったとき。
- ② 本サービスに関する機器、設備等の保守、工事等を実施する必要があるとき。
- ③ 本サービスにおいて使用する機器、設備等に故障、障害等が発生したとき。
- ④ 災害の予防若しくは救援、交通、通信若しくは電力の供給の確保又は秩序の維持に必要な通信その他公共のために必要があるとき。
- ⑤ 当社の運用上又は技術上、本サービスの全部又は一部の提供を中断する必要があるとき。

(2) 当社は、前項に定めるほか、本サービスの運用上必要な範囲において、本サービスの利用の制限等を行うことができるものとします。

(3) 当社は、第(1)項に基づく本サービスの全部若しくは一部の提供の中断又は前項に定める利用の制限等を計画している場合は、その旨を本サービスサイト上に掲載する方法によりサービス契約者に周知するものとします。ただし、緊急やむを得ない場合は当該周知を行わないことがあります。

(4) 当社は、第(1)項又は第(2)項の定めに基づき本サービスの提供を中断し、又はその利用を制限等した場合であっても、利用料金の減免等を行わず、また当該提供中断又は利用制限等によりサービス契約者に損害が生じた場合であっても、責任を負いません。

第11条 (提供停止等)

(1) 当社は、サービス契約者が次の各号のいずれかに該当すると当社が判断したときは、サービス契約者に対する事前の通知を行うことなく、本サービスの全部又は一部の提供を停止することができるものとします。

- ① 第4条（利用契約の成立）第(4)項各号のいずれかに該当するとき。
 - ② 第7条（禁止事項）又は第21条（変更の届出）に違反したとき。
 - ③ 当社に対する債務を弁済しないとき（当社がその弁済の事実を確認できない場合を含みます。）。
 - ④ 当社に対して事実と反する内容の届出又は通知をしたとき。
 - ⑤ 第三者による本サービスの利用に支障を与える又はそのおそれのある行為があったとき。
 - ⑥ その他本規約に違反したとき。
 - ⑦ その他当社の業務の遂行上支障があるとき。
- (2) 当社は、サービス契約者に対し、前項の措置に替えて、又は前項の措置とともに、期限を定めて当該事由を解消することを求めることができます。ただし、本項の定めは、当社が第14条（当社が行う利用契約の解除）に基づき利用契約を解除することを妨げるものではありません。

第12条 （本サービスの廃止）

- (1) 当社は、当社の都合によりいつでも本サービスの全部又は一部を廃止することができるものとし、この場合、本サービスサイト上に掲載する方法により、サービス契約者に対してその旨を周知するものとし、なお、本サービスの全部が廃止された場合は、当該時点をもって利用契約は自動的に終了するものとし、
- (2) 当社は、前項の定めに基づき本サービスの全部又は一部を廃止したことによりサービス契約者に損害が生じた場合であっても、責任を負いません。

第13条 （サービス契約者が行う利用契約の解約）

サービス契約者は、利用契約の解約を希望する場合は、当社所定の方法により、利用契約を解約することができるものとし、この場合、当社が、解約手続が完了した旨をサービス契約者に通知した時点で利用契約は終了するものとし、

第14条 （当社が行う利用契約の解除）

- (1) 当社は、サービス契約者が次の各号の一に該当すると当社が判断したときは、何らの催告を行うことなく、直ちに利用契約の全部又は一部を解除し、被った損害の賠償を請求することができるものとし、
- ① 利用契約の申込内容が事実と反していることが判明したとき。
 - ② 第11条（提供停止等）第(1)項各号に定める事由のいずれかに該当するとして、本サービスの提供が停止された場合において、当該事由が当社の業務に支障を及ぼすおそれがあるとき、又は当社が指定する期限までに当該停止の原因となった事由を解消しないとき。

- ③ 第7条（禁止事項）に違反したとき。
 - ④ 本規約に基づく義務を履行する見込みがないと認められるとき。
 - ⑤ 支払の停止があったとき、支払不能の状態に陥ったとき、破産手続開始、民事再生手続開始、会社更生手続開始若しくは特別清算開始の申立てがあったとき、手形交換所の取引停止処分を受けたとき、又は仮差押え、保全差押え若しくは差押えを受けたとき。
 - ⑥ 当社に重大な危害若しくは損害を及ぼしたとき、又はそのおそれがあるとき。
 - ⑦ 当社に提供された情報の全部又は一部に虚偽、誤記又は記載漏れがあった場合
 - ⑧ 第三者の保有する著作権その他の知的財産権等を侵害することを明らかに意図したインプット情報を入力等し又はアウトプット情報を出力等させた場合
 - ⑨ その他本サービスの提供を継続できないと認められる相当の事由があるとき。
- (2) 当社が前項の定めに基づき利用契約を解除した場合、サービス契約者は、当社の請求に基づき直ちに当社に対する債務を弁済するものとします。

第15条 （利用契約の継続、終了等）

- (1) 第12条（本サービスの廃止）第(1)項、第13条（サービス契約者が行う利用契約の解約）及び前条のほか、サービス契約者がドコモ回線契約者の場合においてドコモ回線 d アカウントが失効した場合、又はサービス契約者が非ドコモ回線契約者の場合においてキャリアフリーd アカウントが失効した場合は、当該失効の時点をもって利用契約も自動的に終了するものとします。
- (2) 前項の定めにかかわらず、ドコモ回線契約者であるサービス契約者が Xi/5G 契約を解約される場合、Xi/5G 契約の解約に際し、当社が別に定める方法に従い、以下の全ての条件を満たされた場合には、利用契約は終了せず、引き続き非ドコモ回線契約者として本サービスをご利用いただくことができます。なお、この場合において、Xi/5G 契約の終了以降に本サービスをご利用になるためには、キャリアフリーd アカウントが必要になります。Xi/5G 契約の解約に伴い、サービス契約者が保有していたドコモ回線 d アカウントは原則として特段の手続きを要せず、キャリアフリーd アカウントに自動移行し、そのままご利用いただけますが、例外的に、サービス契約者のドコモ回線 d アカウントの ID が電話番号形式、@docomo.ne.jp 形式のドコモのメールアドレス又は自由文字列形式の場合には、別途 d アカウント規約に定めるキャリアフリーd アカウントへの移行のお申込みを行っていただく必要があります。
- ① 利用契約の継続を希望されること
- (3) 非ドコモ回線契約者であるサービス契約者が Xi/5G 契約を締結し、ドコモ回線契約者となった場合、サービス契約者は、キャリアフリーd アカウントに関する登録情報に当該 Xi/5G 契約の契約回線にかかる電話番号を追加する当社所定の手続きを行うことにより、サービス契約者がご利用のキャリアフリーd アカウントのドコモ回

線 d アカウントへの移行をお申込みいただくことができます。この場合、キャリアフリーd アカウントのお申込み時等にご登録いただいたサービス契約者に関する情報は、ドコモ回線 d アカウントに関するご登録情報として引き継がれ、利用契約は終了せず、引き続きドコモ回線契約者として、移行後のドコモ回線 d アカウントにより本サービスをご利用いただくことができます。

- (4) 利用契約が解約その他の事由により終了した場合、終了時点以降は、本サービスをご利用いただくことはできません。

第16条 （本サービスアプリの契約不適合）

当社は、本サービスアプリに利用契約に定める内容に適合しない点（以下「契約不適合」といいます。）が発見された場合で、当該契約不適合の修補が必要であると認めたときは、利用契約に定める内容に適合する本サービスアプリを提供し、又は当該本サービスアプリの契約不適合を修補するよう努めますが、その実現を保証するものではありません。本サービスアプリの修補が行われた場合、サービス契約者は、本サービスアプリを再ダウンロードし、又はバージョンアップする必要があります。なお、本サービスアプリの再ダウンロード又はバージョンアップが完了するまでの間、本サービスを利用できないことがあります。

第17条 （損害賠償）

- (1) 当社は、当社に故意又は重過失がある場合を除き、本サービスに関連してサービス契約者が被った損害等について、債務不履行責任、不法行為責任その他法律構成を問わず、当社の責に帰すべき事由により現実に発生した直接かつ通常の損害を除き一切の責任を負わないものとし、その損害賠償額の上限は対象回線契約の月額基本料金のうち最も安価なものとしします。

第18条 （非保証）

- (1) 本サービスは生成 AI を利用して提供するものであり、当社は、本サービス、本サービスを通じて表示されるコンテンツ（第三者が提供する有償又は無償のサービス、商品、ウェブサイト、アプリケーションその他のコンテンツ（以下「第三者コンテンツ」といいます。）を含みます。）その他本サービスによりサービス契約者が取得し得る一切の情報について、それらの目的適合性、正確性、完全性、有用性、的確性、信頼性、即時性、サービス契約者に適用のある著作権法その他の法令に適合すること、本サービスに関してエラー・バグその他の不具合が生じないこと、本サービスに関してセキュリティ上の欠陥が存在しないこと及びそれらの利用が第三者の権利利益を侵害しないこと等について、何ら保証をするものではなく、サービス契

約者は自らの責任でこれらを利用するものとします。

- (2) 本サービスを通じて提供される情報は、その性質上、誤り、不完全性、時点差、文脈解釈の揺れ、実在しない URL、期限切れのドメイン、又は第三者によって不正に取得・改ざんされたウェブサイト（フィッシングサイト、詐欺サイト等を含みます。）を含みうるものです。
- (3) 本サービス又は本サービスを通じて表示されるコンテンツは、特定の質問、相談に対する専門的なアドバイスを受けることを目的に提供されるものではありません。
- (4) 本サービスを通じて表示される内容が当社の Web サイトに掲載されている内容と異なる場合には、当社の Web サイトに掲載されている内容が優先して適用されるものとします。

第19条 （第三者コンテンツ）

- (1) 当社は、本サービスを通じて表示される第三者コンテンツの利用を勧誘、支持又は推奨するものではなく、サービス契約者が本サービスを通じて表示される第三者コンテンツに関連して行う取引（有償又は無償を問わず、商品又はサービスの購入、購入の予約・申込み及びその他の取引に関連する意思表示を含みます。）は、サービス契約者の責任でサービス契約者と当該第三者コンテンツの提供者との間で直接に行われるものであり、当社は当該取引の当事者又はその代理人とはならず、当該取引に関する責任を一切負いません。

第20条 （通知）

- (1) 当社は、本サービスに関するサービス契約者への通知を、次の各号に掲げるいずれかの方法により行うことができるものとします。
 - ① サービス契約者が利用契約に基づき当社に届け出ている氏名、名称、住所、請求書の送付先等への郵送による通知
 - ② サービス契約者が d アカウントの ID として利用されているメールアドレス又は d アカウント規約に基づく予備メールアドレスとして登録されているメールアドレスへの電子メールによる通知
 - ③ サービス契約者が Xi/5G 契約を締結している場合にあっては、サービス契約者が契約約款に基づき当社に届け出ている氏名、名称、住所、請求書の送付先等への郵送による通知
 - ④ サービス契約者が Xi/5G 契約を締結している場合にあっては、サービス契約者が利用する契約約款に定める sp モード電子メール若しくは i モード電子メール（当社が別途定める sp モードご利用細則に基づくメッセージ R（リクエスト）及び sp モードメールを指します。）のメールアドレスへの通知又は契約約款に定めるショートメッセージ通信モード（SMS）による通知

- ⑤ その他当社が適当と判断する方法
- (2) 前項各号に掲げる方法によるサービス契約者への通知は、当社が前項に定める通知を発した時点になされたものとみなします。
- (3) 当社は、第(1)項各号に掲げる方法のほか、本サービスサイト上にその内容を掲載することをもって、本サービスに関するサービス契約者に対する通知に替えることができるものとします。この場合、当社が当該通知内容を本サービスサイト上に掲載した時点をもって当該通知がサービス契約者に対してなされたものとみなします。

第21条 (変更の届出)

- (1) サービス契約者は、氏名、名称、住所、電話番号その他の本サービスに関する当社への届出内容に変更があった場合は、速やかに当社に届け出るものとします。なお、届出内容に変更があったにもかかわらず、当社に届出がない場合（届出後、当社がその変更内容を確認できるまでの間を含みます。）、本規約に定める当社からの通知については、当社がサービス契約者から届出を受けている連絡先への通知をもってその通知を行ったものとみなします。
- (2) 前項の届出があった場合、当社は、その届出のあった事実を確認するための書類の提示又は提出をサービス契約者に求める場合があります、サービス契約者はこれに応じるものとします。
- (3) 第(1)項の定めにかかわらず、サービス契約者が契約約款に基づき当社に届け出ているサービス契約者の氏名、名称、住所等に変更があった場合は、本規約に定める当社からの通知についても、当該契約約款に基づき届出を受けた変更後の連絡先に対して行います。

第22条 (残存効)

利用契約が終了した後も、第6条（知的財産権等）第(2)項から第(4)項まで、第8条（利用料金）、第9条（パーソナルデータの取扱い）、第10条（提供中断等）第(4)項、第12条（本サービスの廃止）第(2)項、第17条（損害賠償）、第18条（非保証）、第19条（第三者コンテンツ）、第25条（権利の譲渡等）、第26条（合意管轄）及び第27条（準拠法）の定めは、なお有効に存続するものとします。

第23条 (反社会的勢力の排除)

- (1) サービス契約者は、次の各号のいずれか一にも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを表明し、保証するものとします。
- ① 自ら（法人その他の団体にあつては、自らの役員を含みます。）が、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動等標ぼうゴロ又は特殊知能暴力集団等その

- 他これらに準じる者（以下総称して「暴力団員等」といいます。）であること。
- ② サービス契約者が法人その他の団体の場合にあっては、暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること。
 - ③ サービス契約者が法人その他の団体の場合にあっては、暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること。
 - ④ 自ら若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって取引を行うなど、暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること。
 - ⑤ 暴力団員等に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること。
 - ⑥ サービス契約者が法人その他の団体の場合にあっては、自らの役員又は自らの経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること。
- (2) サービス契約者は、自ら又は第三者を利用して次の各号のいずれかにでも該当する行為を行わないことを保証するものとします。
- ① 暴力的な要求行為
 - ② 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - ③ 取引に関して、脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
 - ④ 風説を流布し、偽計を用い、又は威力を用いて、当社の信用を毀損し、又は当社の業務を妨害する行為
 - ⑤ その他前各号に準ずる行為

第24条 （規約の変更）

当社は、本サービスサイト上に掲載する方法によって、次の各号のいずれかに該当する場合は、あらかじめサービス契約者に周知することにより、本規約を変更することができるものとします。なお、本規約が変更された場合は、変更日以降当該変更後の本規約が適用されます。

- ① 本規約の変更が、サービス契約者の一般の利益に適合するとき
- ② 本規約の変更が、利用契約の目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、変更の内容その他の変更に係る事情に照らして合理的なものであるとき

第25条 （権利の譲渡等）

サービス契約者は、利用契約に基づき当社に対して有する権利又は当社に対して負う義務の全部又は一部を第三者に譲渡し、承継させ、又は担保に供することはできません。

第26条 （合意管轄）

サービス契約者と当社との間で本規約及び利用契約に付随又は関連して紛争等が生じた場合は、東京地方裁判所又はサービス契約者の住所地を管轄する地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第27条 （準拠法）

利用契約の成立、効力、解釈及び履行については、日本国法に準拠するものとします。

附則（2026 年 3 月 25 日）

本規約は、2026 年 3 月 25 日から実施します。

附則（2026 年 4 月 22 日）

本規約は、2026 年 4 月 22 日から実施します。

附則（2026 年 6 月 8 日）

本規約は、2026 年 6 月 8 日から実施します。

附則（2026 年 7 月 30 日）

本規約は、2026 年 7 月 30 日から実施します。